

## 資料7

幸福度指標作成に必要な質問調査項目一覧（生活の質に関する世帯調査設計）

分類	番号	質問項目	世帯票	一般票	子ども・青年票（就職していない者）
家族 （世帯状況の把握）	Q1	世帯人員数	○		
	Q2	婚姻関係（以下、世帯全員）	○		
	Q3	婚姻関係の時期	○		
	Q4	名前（イニシャルで可）	○		
	Q5	性別、年齢	○		
	Q6	続柄	○		
	Q7	最終学歴（中退も選択肢に含む）	○		
	Q8	職種（失業なども含む）	○		
	Q9	同居・別居の別	○		
	Q10	子どもの数（確認用）	○		
	Q11	寝たきり、介護（認知症の状況含む）、病気、障害を持ち、世話が 必要な家族・親族の有無及び続柄（世帯より広く捉えた家族・親 族）	○		
主観的幸福度	Q12	幸福度（10件法）		○	○
	Q13	理想の幸福度		○	○
	Q14	将来の希望（生活不安）		○	○
	Q15	人並み感（協調的幸福感尺度）		○	○
	Q16	<参照指標>人生満足度（Ladder）		○	○
	Q17	幸福度で重視する項目		○	○
	Q18	制度への信頼（政府）		○	
	Q19	意見募集認知度		○	
	Q20	環境問題の理解度		○	○
	Q21	自然などへの畏敬		○	○
	就業状況	Q22	仕事の有無		○
Q23		職種（仕事をしている者）		○	
Q24		非正規を望んでいない者（非正規のみ）		○	
Q25		仕事の希望（仕事をしていない者）		○	
Q26		失業期間（失業者のみ）		○	
Q27		自らの起業の希望		○	○*
Q28		年間勤務日数、有給休暇取得日数		○	
Q29		育児休暇取得経験（子どもありのみ）		○	
Q30		仕事満足度・充実度		○	
Q31		職歴（就学中、学卒後、最長、5年後）		○	
Q32		外出頻度		○	○
Q33		現在の状況になった期間		○	○
Q34		現在の状態になったきっかけ		○	○
Q35		ニートひきこもり尺度		○*	○
住居		Q36	住居形態	○	
	Q37	家の広さ	○		
	Q38	住居の基本設備（EU SILK）	○		
	Q39	住居の環境設備（住居面積、日当たり、雨漏りなど）	○		
	Q40	住居の環境（EU SILK）（ゴミ、騒音、犯罪／暴力など）	○		
	Q41	環境配慮型住居	○		
	Q42	物質的剥奪（耐久財）（EU SILK）	○		
	Q43	物質的剥奪（支出）（EU SILK）	○		
	Q44	家賃等延滞経験	○		
	Q45	公共サービスの停止経験→最初の経験の時期	○		
	Q46	投票経験（成人のみ）		○	
	Q47	住居満足度		○	○
地域	Q48	現在の地域居住期間		○	○
	Q49	現在への居住地に住み続ける希望		○	○
	Q50	身近な環境（買い物、緑地、医療機関、子どもの遊び場等）		○	○
	Q51	夜、一人で歩くことができる		○	○
	Q52	地域との関わり度		○	○
	Q53	社会のためになる役立ちたい意識		○	○
	Q54	社会活動（NPO、スポーツ／趣味団体、など）・参加理由		○	
	Q55	地域の自然、文化への理解度、地域の伝承の認知		○	○
	Q56	世代を超えた交流		○	○
	Q57	ネットコミュニティ交流		○	○
	Q58	最近の募金、献血の経験		○	○
	Q59	災害時避難の経験		○	○
	Q60	環境問題への理解度		○	○
	Q61	フェアトレード購入経験		○	○*
家族など とのつながり	Q62	両親の居住地		○	
	Q63	近親の居住地		○	
	Q64	交流頻度（直接）		○	○
	Q65	交流頻度（間接）		○	○
	Q66	病気などの際に救いの手を差し伸べてくれる者		○	○
	Q67	情緒的サポート尺度		○	○
	子どもの頃の経験	Q68	子どものころの本の数		○
Q69		子どものころの新聞		○	
Q70		15歳の時の暮らし向き		○	
Q71		子どもころの生活扶助		○	
Q72		子どもの頃の親との交流（本を読んでもらった経験など）		○	○

健康	Q73	生活時間（自由時間など）、満足度		○	○
	Q74	ストレス		○	○
	Q75	うつ尺度（GSC-D）		○	○
	Q76	健康自己評価		○	○
	Q77	長期的な疾患の有無（病名。子どもはアトピー、喘息などを含む）		○	○
	Q78	医療サービス満足度（クリニック、カウンセラーを含む）		○	
	Q79	日常生活動作（ADL。高齢者のみ）		○	
	Q80	手段的日常生活動作（IADL。高齢者のみ）		○	
	Q81	看病などの疲労度		○	
	Q82	看病などの際の外部サポート体制満足度		○	
過去の経験	Q83	被害経験・時期・金額（消費者、犯罪、ハラスメント、DV、自然災害、自己破産など）		○	
	Q84	東日本大震災被害状況（被災状況、避難生活経験）	○		
	Q85	住居を失い、路上生活など経験		○	
	Q86	最も影響を与えたライフイベント（自由回答）		○	○
主観的感情	Q87	自己有用感		○	○
	Q88	一般的信頼		○	○
	Q89	海外文化受容度		○	○
	Q90	困った人を助けることの自己評価		○	○
	Q91	家族生活満足度		○	○
	Q92	孤独感（UCLA孤独感尺度）		○	○
	Q93	感情経験（Bhutan+恥など）		○	○
	Q94	不安（過労死、孤独死、失業、放射能、老後の生活費など）		○	
	Q95	食の安全		○	
	Q96	希死念慮		○	○
子育て	Q97	子育て満足度		○	
	Q98	子育て支援サービス満足度		○	
	Q99	男性の子育て参加満足度		○	
	Q100	保育園、幼稚園への入園希望（入れていない者）		○	
	Q101	子どもの最終学歴予想（経済的理由で進学できない）		○	
子ども（学校）	Q102	学校生活満足度			○
	Q103	生きる力（コミュニケーションへの不安、困った時に助けてと言え るなど）			○
	Q104	遊び、就学、塾・習い事の時間配分			○
	Q105	いじめの経験			○
	Q106	発達障害			○
	Q107	帰宅後に一人で過ごす時間			○
	経済状況	Q108	家計が赤字	○	
Q109		住居費負担感	○		
Q110		公的支援（開始時期）	○		
Q111		助け		○	○
Q112		年収（世帯全体、同居人毎）	○	○	○
Q113		公的給付の有無（金額？）	○		
Q114		収入の種類		○	○
Q115		資産	○		
Q116		負債	○		
Q117		年金、保険料支払い状況		○	
○（世帯主の回答で把握可能なもの）			29	82	53計
第1回調査調査項目候補（黄色）			25	67	47

\*は回答者年齢設定を行う項目